

# WOOD FLOORING

# MAINTENANCE

## POINTO 未永くフローリングを お使いいただくためのお願い

本物のフローリングは上手にお付き合いいただけましたら未永く快適に過ごせる優れた床です。  
ここではメンテナンスのポイントをご紹介します。

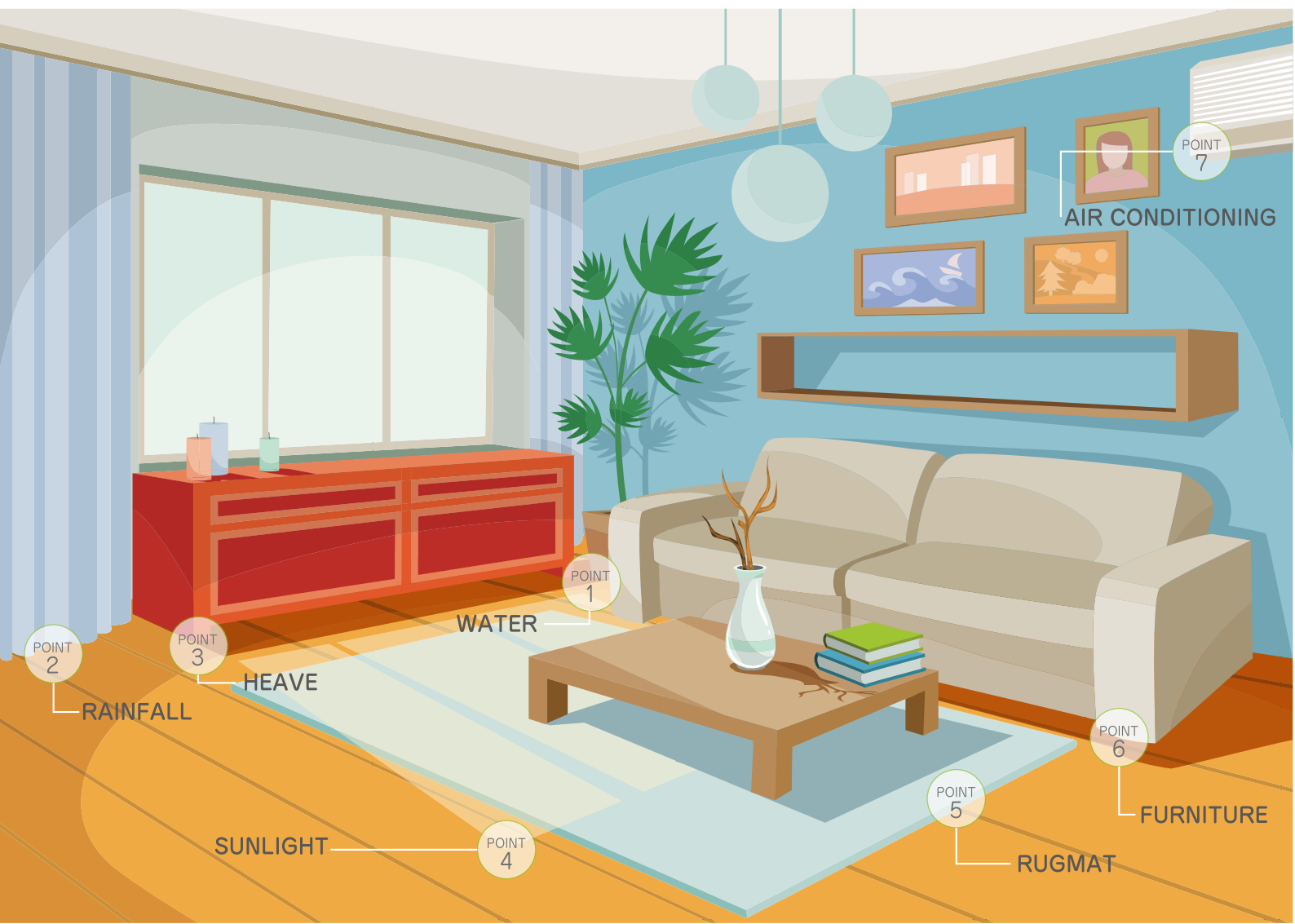
### はじめに

急激な温度変化や、湿度の変化は、無垢フローリングにとって大敵です。

間違ったメンテナンスをされると、膨張や収縮を招き、割れやヤセ(フローリングの目地に隙間が生じる)、  
反り、表面の塗装の剥離等の原因となります。

ウレタン塗装品、自然塗装品ともいかに水分(湿気)からフローリングを守るかがポイントとなります。

適切なメンテナンスをすることにより、半永久的に長持ちします。



POINT  
1

## WATER

水

水は大敵です。鉢植えの水受け皿から漏れが無いかご注意ください。うっかりお水が漏れていて輪染みになってしまったというお話しをよく伺います。こまめに鉢の下はチェックしましょう。

ペットの排泄物も大敵です。放置すると通常のお水以上に変色などのものになってしまいます。見つけ次第すぐにお掃除してあげてください。

キッチン・洗面・トイレなどの水まわりはマットなどで保護しましょう。ですがマットが濡れたまま放置しますとカビなどを誘発してしまうので定期的に確認しましょう。

POINT  
2

## RAINFALL

雨漏り・吹き込み・結露

掃き出し窓や窓からの雨の吹き込みにご注意ください。結露も放置すると床に影響があります。長時間の雨漏り水漏れはフローリングのシミや汚れ、変色、膨張の原因となります。特にオイル塗装品は水漏れにより変色しやすいので、注意しましょう。また、お庭などからの出入口も繰り返しの通行で水に濡れますとダメージが大きくなりますし、砂などはキズを付けてしまいます。足拭きマットなどを利用しましょう。

POINT  
3

## HEAVE

重いもの

重い家具や冷蔵庫、ピアノなどを置く場合は、下地補強と必ず保護板などでフローリングにかかる重量を分散させて、キズやへこみを防止しましょう。

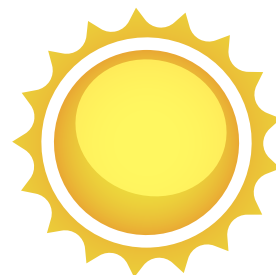
ソファなど同じ位置でご使用されると重みでへこみなどが生じます。

POINT  
4

## SUNLIGHT

紫外線

木材も人間のお肌と同じように紫外線の影響で変色します。直射日光の当たる場所とラグマットや家具などでさえぎられている場所では色合いに差が出てくる場合があります。樹種により様々で、濃くなっていく樹種と薄くなっていく樹種があります。継続的に光が強く当たる場所はヒビ割れの原因にもなりますのでカーテンやブラインドなどで日差しを調整しましょう。



POINT  
5

## RUGMAT

敷物

ラグマットはインテリアのアクセントに欠かせないですね。キズから守ってくれるメリットもありますが、紫外線の影響でマットの下との色差ができてくることがあります。

水などをこぼしてそのまま気が付かなく放置しますとカビの原因にもなります。またマットの下に小石など入ってしまうとキズをつくります。固定の為に粘着テープなどをつかいますと、剥がす時にフローリング表面を傷めます。マット裏にあるすべり止め加工のゴムも長時間同じ位置で配置されていると貼りついてしまうこともありますので注意が必要です。

マットは定期的を外してお掃除をしましょう。



POINT  
7

## AIR CONDITIONING

空調・暖房

エアコンの風が直接当たらない様に気を付けましょう。

フローリングが収縮して目地に隙間が生じる可能性があります。

避けられない場合は、マットなどでカバーしましょう。

また、継続的な使用により室内が乾燥すると同じく隙間や割れが生じる場合があります。

加湿器などで湿度調整をしましょう。この場合も加湿器の水滴に注意しましょう。

床置き型の機器の場合、吹出口からの風が直接あたり続けると膨張収縮がおきてしまいますので注意しましょう。

ホットカーペットはカーペットとフローリングの間に熱がこもってしまいヒビ割れや収縮がおこります。ご使用になる場合はカーペットとフローリングの間に断熱性のあるシートを使用して保護をお願いします。

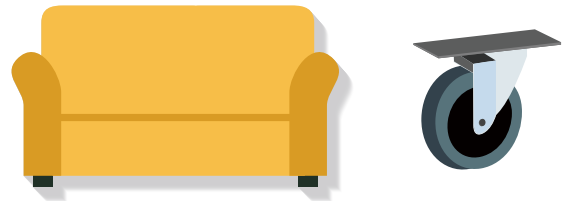
POINT  
6

## FURNITURE

家具

家具をひきずるとフローリングの表面がキズついてしまいます。脚部に布製のカバーをつけて保護しましょう。プラスチック製、ゴム製のものは、種類によってはキズつきますので注意しましょう。

キャスターや車椅子のご使用は破損やキズを生じます。タイヤのラバーがついてしまう場合もありますので気をつけましょう。



## その他のメンテナンスポイント

毛染剤、パーマ液、靴墨、漂白剤、カビ取り剤、アイロンやタバコの焦げ跡・・・取れなくなります。注意しましょう。

虫……

製造の時に高温で処理をしてフローリングをつくっています。その時に虫や卵は死滅してしまいます。ですがナチュラルな材料の為、流通の過程や施工したあとに飛来してきた虫に気に入られてしまう場合があります。もし、小さな穴から粉が出ている箇所がありましたら虫食いの可能性があります。薬剤を散布する必要がありますので、ホームセンターなどで薬剤をお求めになるか、駆除専門業者さんへお問合せください。

# WOOD FLOORING

## MAINTENANCE

## EVERYDAY

フローリングのお手入れは表面塗装の仕上げによって変わります。  
それぞれの塗装に最適なメンテナンスの方法をご紹介します。

### ウレタン塗装品のフローリング

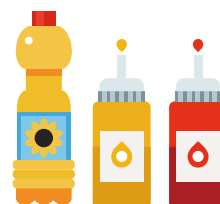
1. ゴミや埃は掃除機できれいにしましょう。
2. 細かい塵や埃は乾いた雑巾やモップを使い取り除きましょう。
3. それでも汚れが落ちない時は、硬く絞った雑巾で拭き取りましょう。  
フローリングが水分を吸収すると、膨張や割れ、  
反りの原因となってしまいます。雑巾は硬く絞ることが重要なポイントです。



#### 乾拭きをしても落ちなかったとき

##### ●油、ソース、マヨネーズ

中性洗剤を溶かしたぬるま湯を使い、硬く絞った雑巾で拭き取ってください。  
汚れが落ちたら乾拭きをしましょう。



##### ●ケチャップ、クレヨン、インク

乾いた布にベンジンを含ませ手早く拭き取ってください。汚れが落ちたら乾拭きをしましょう。



#### ワックス

基本、ワックス掛けの必要はありません。塗膜に合わないワックスを使用されるとムラが出てしまう場合があるからです。  
どうしてもワックス掛けを行いたい（ツヤを出したいなどの理由から）場合は、無垢フローリングに使用できる商品が  
各ワックスメーカーにお問合せいただき、問題が無い様でしたら適量を塗布してください。目立たない場所で試し塗りを  
してから行う様にしましょう。

#### 科学モップ

薬品のついた科学モップなどは変色の原因となりますので、使用は止めましょう。

# オイル塗装品(自然塗装品)のフローリング

オイル塗装品(自然塗装品)のフローリングは、硬く絞ってあっても水拭きは厳禁です。乾拭きが基本です。

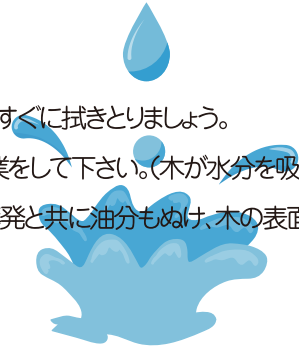
1. ゴミや埃は掃除機できれいにしましょう。
2. 乾いた柔らかい布で乾拭きをしましょう。

## ●軽微なキズ・汚れに対するメンテナンス

- ① キズ、汚れ等を#180~#240程度のサンドペーパーで木目方向に沿って滑らかな表面になるよう削りましょう。
- ② 掃除機でホコリや削った木の粉を取り除き、乾いた柔らかい布できれいにふき取って下さい。
- ③ 推奨塗料を布で板の継ぎ目を避け、木目方向に沿って少量ずつ出来るだけのばし、フローリングの溝に塗料が大量に入らないように薄く塗って下さい。美しく仕上がります。
- ④ 乾いてから丁寧に乾拭きすると汚れの防止と共に艶だしの効果もあります。  
(\*失敗塗装の原因のほとんどが塗りすぎによります。ご注意ください)

## ●水等をこぼした場合のメンテナンス

- ① 速やかに乾いた布で水分をふき取って下さい。特に色のついた液体(しょうゆ等)はすぐに拭きとりましょう。
- ② 完全に乾いてから上記(軽微なキズ・汚れに対するメンテナンス)の①~④の作業をして下さい。(木が水分を吸い取ってしまうと色が取れなくなる可能性があります。また、水分をふき取らずそのまま放置しておくとも水分の蒸発と共に油分もぬげ、木の表面が収縮により亀裂が生じたり、また白くなりザラザラとした毛羽たちを起こしてしまいます)



## ●再塗装の目安

店舗は、3ヶ月ごとに、普通住宅は3か月から半年に1回くらい再塗装していただくと、美しい状態が保たれます。但し、以下の症状が出た場合は期間に関係なく再塗装を行きましょう。

- ・木材の表面に微細な亀裂、毛羽たち等が目立った時。
- 撥水性や艶がなくなり、木地の色が出た時。
- ・カビや汚れ等により外観が悪くなった場合。

## ●ご注意ください

- ・推奨塗料以外の塗料を使用する場合は、ご相談下さい。水性のもの或いはシンナー系のワックス等は、絶対に使用しないで下さい。使用した場合、ひび割れ・ささくれや、塗料が溶けムラになり通常使用不能な状態になります。
- ・水性クリーナー(水で希釈するタイプ等)も絶対に使用しないで下さい。
- ・使用したウエスやぼろ布は、自然発火の恐れがあるので十分に水に浸してから処分するかすぐに焼却処分して下さい。

## ●推奨塗料

クランプ塗料の場合: プラネットジャパン ラッペンワックス

オスモ塗料の場合 : オスモカラー #3062フロアクリアー

\*その他、お困りの場合は各営業までお問合せください



## ミハマ通商株式会社

本社・ショールーム

〒236-0003

神奈川県横浜市金沢区幸浦1-15-34

TEL 045-773-5858

FAX 045-773-6159

<http://www.mihamatsusho.co.jp>